

講義科目名称： 地域・在宅看護論Ⅱ

授業コード： 2230301100

英文科目名称： Community & Home Health NursingⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員			
◎関睦美、久保野裕子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎関 睦美</p> <p>久保野 裕子</p> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【研究室】 301 共同研究室2</p> <p>【大学の科目区分】 専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程・保健師課程</p> <p>【DP1】 ○</p> <p>【DP2】 ◎</p> <p>【DP3】 ○</p> <p>【DP4】 ○</p> <p>【DP5】 ○</p> <p>【DP6】 ○</p> <p>【DP7】 ○</p>
------	--

到達目標	<p>1. 看護が提供される多様な場と地域の人々の健康を守る多職種連携・協働について理解する。</p> <p>2. 地域の人々の健康支援の方法と技術を理解する。</p> <p>3. 退院支援と訪問看護の提供方法と役割を理解する。</p> <p>4. 個人の尊厳と、地域の人々の自己決定、意思決定支援を理解する</p>
授業概要	<p>地域における多様な看護と、多職種連携・協働について理解を深める。また、地域で生活する人々の健康課題を捉える方法、健康な人や疾病を持つ人に対してセルフケア能力を高める支援方法としての健康相談、健康教育の方法について基本的な理解を深める。</p> <p>地域で療養する療養者とその家族が安心して地域生活を送るための訪問看護の提供方法と役割、意思決定支援について学ぶ。</p>
授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：看護が提供される多様な場と多職種連携 学習内容：コースガイダンス 看護が提供される多様な場、多職種連携</p> <p>備考：関</p> <p>2 授業内容 授業形態：グループワーク 学習課題：地域の人々の健康をまもる多職種との連携・協働 学習内容：多職種との連携・協働 専門職の役割 グループ発表</p> <p>備考：関</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：地域の人々のセルフケア支援 学習内容：セルフケア能力を高める理論 健康教育 健康相談</p> <p>備考：久保野</p> <p>4 授業内容 授業形態：グループワーク 学習課題：地域の人々のセルフケア支援 健康教育の方法 学習内容：健康支援の検討 備考：久保野</p> <p>5 授業内容 授業形態：対面 学習課題：継続看護の必要性和機能 学習内容：退院支援と退院調整 備考：関</p> <p>6 授業内容 授業形態：対面 学習課題：訪問看護の必要性和役割</p>

	<p>学習内容：医療政策の動向 訪問看護の役割と対象</p> <p>備考：関</p> <p>7 授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：訪問看護に関する法律と制度</p> <p>学習内容：訪問看護の仕組みと提供方法</p> <p>備考：関</p> <p>8 授業内容</p> <p>授業形態：対面</p> <p>学習課題：個人の尊厳と意思決定支援</p> <p>学習内容：個人の尊厳 自己決定権 意思決定支援</p> <p>備考：関</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：地域・在宅看護論Ⅰの学習内容を復習し、講義に出席すること。</p> <p>事後学習：講義内容を整理し、学習課題に関する基礎知識を身につける。</p>
評価方法、評価基準	<p>・筆記試験90点（到達目標1～4の達成度を評価する）</p> <p>・レポート10点（到達目標1に対する自分の考えを記載する。具体的な様式等については講義時に説明する。）</p>
必携図書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 医学書院
参考図書・資料等	参考図書は授業時に紹介する。資料等は、必要時に配布する。
受講、課題、資料配布等のルール	出席確認は、どこカレ等で行う。ドコカレ未入力や20分以上の遅刻、途中退室は欠席とみなす。資料は授業開始時に配付する。欠席した場合は、授業1週間までに授業資料を取りにくること。
教員からのメッセージ	既習内容と結びつけて学習を進めて下さい。また、授業は皆さんとディスカッションし進めますので、積極的な学習態度を期待します。
オフィスアワー	